

Z-GISとGPSの利用

iOS版、Android版のZ-GISではモバイル端末に内蔵されているGPSを利用することができ、圃場での記録に活用できます。

GPSと「Mark」の使い方

モバイル版のZ-GISを立ち上げると、矢印（➤）が表示されます。これはモバイル端末の現在位置を示しています。

これが基準点（+点）に重なるように画面を調整します。その状態で、下部のアイコンバーにある「Mark」をクリックすることで、地点の緯度経度情報が記録されます。



iOS版の画面
矢印（現在位置）を基準点（+点）に合わせて、「Mark」した状態

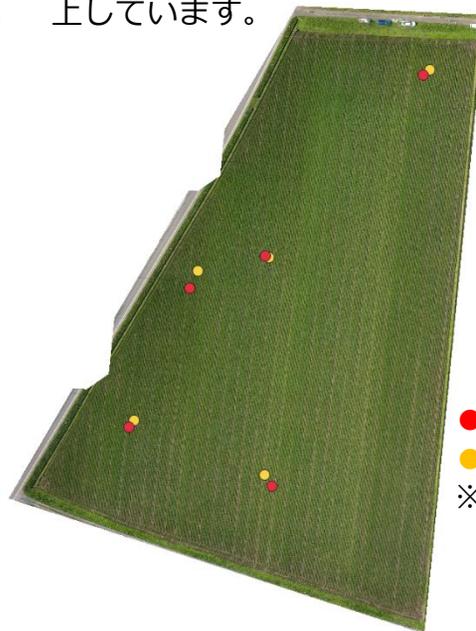
GPSの精度

モバイル端末（iPhone、SE第一世代）のGPSの精度を以下の方法で確認しました。

- ① 水田圃場に目印（蛍光ピンクのテープ）をつけたポール立てる。（生育調査用を利用）
- ② 高精度なGPS情報（補正情報を利用）を用いてドローンで圃場全体を撮影する。
- ③ iOS版Z-GISを使用して、ポールの位置を記録し、ドローン画像と重ねて、ズレを測定する。

水田圃場内5地点で位置を比較したところ、平均4mの差（1.5～7.7m）がみられました。

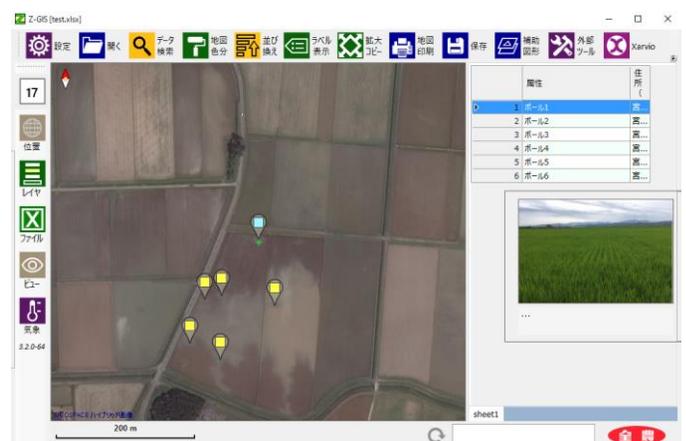
これは圃場のおおよその位置を記録するには十分な精度と言えます。また、最近の端末は「みちびき」に対応するなど、GPS（GNSS）の精度が向上しています。



GPSの精度確認
● ポール位置
● Z-GISで記録された位置
※水田圃場面積は約2ha

活用場面

この機能は位置の記録のみならず、地点と紐つけて写真やコメントも記録できます。圃場の巡回時にすぐに対応すべき事項などを記録し、関係者で共有したり、レポートを作成したりすることができます。ぜひ、ご活用ください。



モバイルで記録した地点および写真をPC版で表示